

用木沢木橋の架け直し

日付：令和8年4月22日（水）

●木橋の架け直し作業をしました。東海自然歩道、用木沢沿い二か所の木橋です。一本は沢側へ落下、一本は増水で流され一部土砂に埋まった状況でした。



外れて沢側に落ちた木橋



岩に掛り土砂に埋もれている

●木橋は増水等による流出を想定し、近くの石、木、構造物などにワイヤー固定されています。今回はワイヤーが堪えたためどちらも設置場所付近に留まっていますが、切断され相当下流で発見される場合もあります。



木橋を木や岩につなぎ留めたワイヤー

●落下した木橋はロープ掛けして吊り上げました。人力しかありませんがハンドウインチ利用で通常困難な高さへの吊り上げが可能です。それでも要所ではスリングベルトを使用し障害を乗り越えさせることも必要でした。



スリングベルト



ハンドウインチ

●一部土砂に埋まった木橋は掘り出して再設置します。10メートルほどの丸太五本を組んだ木橋のため、数メートルの移動も6人で数回に分けての運搬となりました。



●再設置後はどちらの橋も石を使って安定させました。その場にある材料の利用で歩行時の足元を守ります。それでも渡るときには用心を重ねてください。



石をうまく組み合わせ水平にして安定化を図る